

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	柏崎市家庭教育支援チーム (呼称: よろんごの木 )
②活動拠点	比角コミュニティセンター
③活動範囲	柏崎市内、第二中学校区
④組織体制	<u>4</u> 人 柏崎市社会福祉協議会理事 1 名、子育てサポーター3 名 その他、個別対応相談員として主任児童委員 2 名
⑤活動開始年度	<u>平成21</u> 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 須田 貴子 (TEL)比角コミュニティセンター (0257)24-7487 (E-mail)future_atlas94@amber.plala.pr.jp

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他( )
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上  の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p><b>③活動内容</b></p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>1. <u>居場所づくり</u>        児童等が自由に遊べる場所を地域のコミュニティセンター内に設置し、子どもや保護者と会話する中で悩みを聞くようにしている。</p> <p>2. <u>啓発活動</u>        ・各種団体との連携による挨拶・交通安全・メディア・防犯等啓発活動の実施        ・移行学級時にて文部科学省発行パンフレットの配付</p> <p>3. <u>広報紙の発行</u>        ・関係機関の情報をまとめた機関紙の発行        ・コミュニティセンター内にて子育て応援情報コーナーの設置</p> <p>4. <u>学ぶ場の提供</u>        ・小学4年生への福祉講話協力        ・野外体験活動への協力</p> <p>5. <u>各種団体との連携</u>        ・地域のあらゆる団体と連携した「地域食堂」開催及び「地域安全マップ」を作成        ・学校や町内会と連携し、高齢者宅への子どもの書いた手紙の配付協力</p> <p>6. <u>子育て家庭へのアンケート調査の実施</u>        ・幼児保護者にコロナ禍で困った事などのアンケート調査の実施        コミセン祭会場にて、アンケート結果を掲示。保健師からも祭会場に出向していただき、保護者のプチ相談会を実施した。</p>
<p><b>④活動の成果</b>        (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での教育が行き届かない子どもの居場所を拠点とするコミュニティセンター内に設置し、学校と情報を共有しながら学習支援をすることが出来た。</li> <li>・高校卒業後、コロナ禍で悩んでいることをわざわざ相談しに来てくれた子がいた。</li> <li>・保護者が子どもを迎えに来た際に何気ない会話の中で悩みを傾聴することが出来た。</li> <li>・保護者(父子家庭)の代理で親子学習会に出席し、子どもと一緒に工作をした。子どもの笑顔を見ることができて良かった。</li> <li>・登下校時の見守りをしながら、歩道の歩き方、国道の渡り方などを話すことが出来た。</li> <li>・学習ボランティアに参加し、子ども達と会話をしながら家庭での様子を伺うことが出来た。</li> <li>・地域食堂を開催するにあたり、地域の農業組合からお米を無償でいただくことが出来た。</li> <li>・幼児保護者にコロナ禍で困った事などのアンケート調査の実施した際、幼稚園保育園に通う園児保護者だけではなく、子育て支援室の保護者にも配付していただき、回答が集まり次第コミセンにも届けていただく保育園もあり、大変有難かった。</li> <li>・小中学校での消毒ボランティアや中学生への朝の検温挨拶運動に協力し、多くの地域の方から学校に足を運んでいただき、先生方との顔をつなぐことが出来た。</li> <li>・コロナ禍でストレスを抱える児童生徒の実態を小中学校長・養護教諭・学習指導員・PTA会長・主任児童委員・育成会役員等と懇談会を実施。学校職員や地域住</li> </ul>

	<p>民への家庭教育講話会実現に向け、事務局として参画し、今年度中に3月頃講話を1回開催する予定となった。来年度以降も継続事業とし、小中学校とともにチーム一丸となって家庭へのアプローチ方法を模索することとなった。</p>
<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<p> <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名: )  <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )  <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )  <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施  <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)  <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施  (地域の福祉団体からの補助 ) </p>